



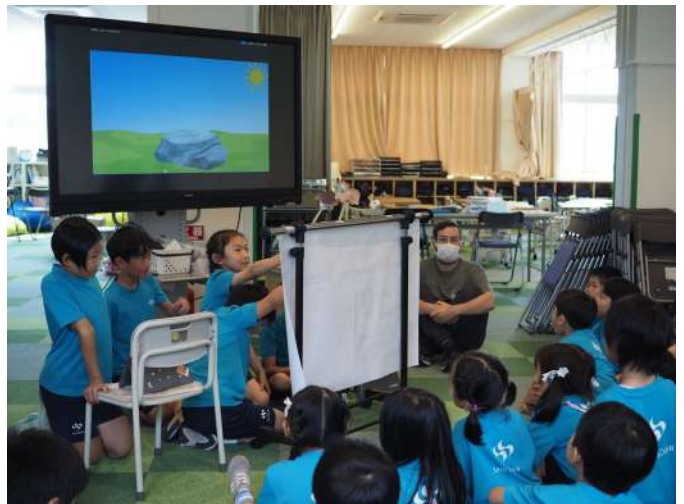
English project

明日18日の学習発表会に向けて、English projectでは、パペットショーの準備や練習を行ってきました。

協力して準備や練習をする様子、英語をたくさん使って童話を表現する様子が、とても素敵で、明日はきっとよい姿を保護者の皆様にお見せすることができるだろうと思っております。

また、今週背景としてテレビを使ために、子どもたちが空いていた1年生の教室を借りて練習をしていました。

すると、練習の様子を見ていた1年生の先生たちから、「すばらしい活動なので、ぜひ1年生の子たちにも見せてもらいたい」と言ってもらえ、今日1年生向けにパペットショーを披露することになりました。



クラスの友達相手に見せるのとは勝手が違ったようで、終わった後、「思ったより緊張した!」「はずかしかった!」などと言っていましたが、1年生の子たちから大好評だったのがうれしかったようでみんな晴れやかな笑顔を見せていました。

きっと、1年生の子たちにとっての憧れの存在になることができたのではないかなと思っています。

明日の学習発表会でも、今日の経験や反省を生かして、きっとがんばってよい発表をしてくれるはずです。

英語の成長、発音のよさ、セリフを覚えていること、声の大きさや出し方、堂々と発表する態度など、きっと褒めることはたくさんあるはずです。

しかし、職業柄よく思うのは、発表が終わった後、子どもたちは一体何と言ってもらいたいのか?何を言ったら子どもたちは一番喜ぶかです。

褒められたら誰でもうれしいですが、時間をかけてきたこと、努力してきたことは、一番うれしい褒め方をしてあげたいと思っています。

そうやって考えながら子どもたちの発表を見てみると、その裏にあるこれまでの活動の様子や子どもたちの気持ちがよく想像できます。

わたしが終わった後に子どもたちを褒めてあげたいことは、「友達と協力して一つのものを作り上げたこと」です。

3年生なので、最初はトラブルがあったり練習がうまくいかなかったりすることもよくありました。

しかし、日に日に協力して取り組もうとする姿勢が育っていきました。

「今日は〇〇がいないから代わりにおれがブタのせりふ言うよ!」

「今度はできるだけ原稿を見ないでもう一回練習しよう!」

「こうやって動かすと本当に逃げてるみたいに見えるんじゃない?」

など、声を掛け合って活動する姿をたくさん見ることができ、とても感心していました。

保護者の皆様も、ぜひお子様の頑張りを見て、一番喜ぶ言葉を贈ってあげてください。